

平成30年度学部入学試験問題

金沢美術工芸大学

学科専攻名	実技試験 I	実技試験 II
日本画専攻	鉛筆写生 モチーフ 袋入り洗剤、色紙、袋入り麺、ポリブロック3個、ピンポンショット、ガラスカップ飲料	着彩写生 モチーフ パック入りサラダ、水入りガラスコップ（想像の花を挿入したもの）、缶詰、パウチ、色紙
油画専攻	木炭デッサン または 鉛筆デッサン 石膏像「ガッタメラータ胸像」をデッサンしなさい。背景の有無は自由とする。	油彩 または アクリル ウクレレを持つ人物を描きなさい。構図は自由とするが、キャンバスは縦（タテ）位置で使用する。
彫刻専攻	木炭デッサン または 鉛筆デッサン 「石膏像アムール」をデッサンしなさい。	塑造 および スケッチ 自分の手と与えられたビニール袋に水か空気を入れて自由に構成し制作しなさい。また、制作に至るアイデアや完成を想定したスケッチをしなさい。
芸術学専攻 実技試験 又は 小論文 (選択)	実技試験（鉛筆デッサン） 石膏像《ギリシャ婦人》をデッサンしなさい。 小論文（別紙） 【図版A-1（右隻）、A-2(左隻) 「翠苔緑芝」 速水御舟 1928年（昭和3年） 山種美術館】 【図版B-1（右隻）、B-2(左隻) 「波濤郡鶴図」 曾我蕭白 18世紀後半】	
視覚 デザイン 専攻	鉛筆デッサン（条件は別紙） 与えられたモチーフと「自分の手」を自由に構成し、描写しなさい。 モチーフ「布ロープ」、「文鎮」	色彩構成（条件は別紙） 与えられたモチーフと任意のアルファベット1文字を選びイメージを広げて、色彩構成しなさい。 モチーフ「リンゴ」
製品 デザイン 専攻	鉛筆デッサン（条件は別紙） 「野菜水切り器」「野菜水切り器の箱」「ステンレスボール」「トング」「野菜」を描いてください。	製品のデザイン（条件は別紙） 美しいかたちのダンベル（1kg）をデザインして下さい。
環境 デザイン 専攻	鉛筆デッサン 机の上のモチーフを描きなさい。 モチーフ「透明ポリカーボネイト バケツ 本体」「透明ポリカーボネイト バケツ 蓋」「散水ノズル」「水（バケツに水が3リットル入っています。）」	構成デザイン（条件は別紙） 「日本らしさ」をテーマとして、8つの面を持つ閉じた立体を1個以上作り、立体構成しなさい。また、作品のタイトル制作意図を150字程度で書きなさい。
工芸科	鉛筆デッサン（条件は別紙） 「薪」「PPひも」「ペットボトル」「紙ナプキン」「ほうれん草」「オレンジ」「角型バット」を条件に従いデッサンしなさい。	色彩表現（条件は別紙） 「孔雀の羽根」と「ミラーボード」をモチーフとし、「実像と虚像」をテーマに自由な画面構成で色彩表現をしなさい。

※ 別紙は、試験問題のコピーです。

平成 30 年度

金沢美術工芸大学 美術工芸学部 美術科 芸術学専攻

一般選抜入学試験問題

小論文

図版 A と図版 B の作品をよく観察し、何がどのように描かれているか、それぞれ 600 字程度で記述し、さらに両者を比較して、共通点や相違点を具体的にあげて 600 字程度で記述しなさい。[答案は別紙]

図版 A-1 (右隻)、A-2 (左隻)

作品名： 翠苔緑芝
作者名： 速水御舟
制作年代： 1928 年(昭和 3 年)
材質・技法： 屏風四曲一双 紙本金地着色
大きさ： 各 173.0 cm×364.0 cm
所蔵： 山種美術館

図版 B-1 (右隻)、B-2 (左隻)

作品名： 波濤郡鶴図
作者名： 曾我蕭白
制作年代： 18 世紀後半
材質・技法： 屏風六曲一双 紙本墨画
大きさ： 各 153.0 cm×363.0 cm

平成 30年度
金沢美術工芸大学 美術工芸学部
デザイン科 視覚デザイン専攻
実技試験Ⅰ(鉛筆デッサン)

受験番号	
------	--

【問題】

与えられたモチーフと「自分の手」を自由に構成し、描写しなさい。

- ・与えられたモチーフは切断以外の加工、変形は自由とします。
- ・画用紙の縦横は自由とします。
- ・画用紙の裏面に受験番号を書いてください。

(注意事項)

- ・与えられたA4用紙は下書きに使用してください。
- ・使用できる用具は鉛筆、消しゴム、鉛筆削り、クリップのみです。
- ・デッサンスケールやはかり棒、定規、フィクサチーフ、電動消ゴムの使用は認めません。
- ・試験問題に関する質問は認めません。
- ・問題用紙、A4用紙は試験終了後すべて回収します。

受験番号	
------	--

平成 30年度
金沢美術工芸大学 美術工芸学部
デザイン科 視覚デザイン専攻
実技試験Ⅱ(色彩構成)

【問題】

与えられたモチーフと任意のアルファベット 1 文字を選び
イメージを広げて、色彩構成しなさい。

- ・与えられたモチーフの加工は認めません。
- ・アルファベットの大文字、小文字は自由とします。
- ・画面に配置するアルファベットの数は自由とします。
- ・与えられた画材のみで着色しなさい。
- ・ボード全面に着彩しなさい。
- ・ボードの縦横は自由とします。
- ・ボードの裏面中央に作品の上方向を矢印（↑）で記入しなさい。
- ・作品にタイトルをつけて、裏面の受験番号の下に記入しなさい。

(注意事項)

- ・マスキングテープ、からすぐちの使用は認めません。
- ・色見本帳の使用は認めません。
- ・試験問題に関する質問は認めません。
- ・問題用紙、下書用紙、モチーフは試験終了後、すべて回収します。

平成30年度
金沢美術工芸大学 美術工芸学部
デザイン科 製品デザイン専攻
実技試験 I

受験番号	
------	--

■問題

「野菜水切り器」「野菜水切り器の箱」「ステンレスボール」
「トング」「野菜」を描いてください。

■条件

1. 全てのモチーフを画面に納めてください。
2. モチーフが置かれている白い板は描かなくてよい。
3. 用紙の縦横は自由とします。

■注意

1. 試験問題に関する質問は受け付けません。
2. 問題用紙の空欄はメモに使用し、受験番号を記入し画用紙と一緒に提出してください。
(足りない場合は裏面を使用してください)

■問題

美しいかたちのダンベル(1kg)をデザインして下さい。

■デザイン条件

1. 重心の位置を考慮し安全で握りやすいかたちを目指してください。
2. 使っていない時にダンベルを感じさせない美しいかたちを目指してください。
3. 材質は油土と同じ比重の金属を想定してデザインしてください。
4. 表面の仕上げや色彩は自由に考えてください。
5. 与えられた油土1kgを使って自由にデザイン検討してください。
6. かたちは具象的なモチーフを使わないこと。

■提出物について

1. 油土で制作したダンベルを与えられた画用紙に、色鉛筆で最終イメージを精密に表現してください。
2. デザインポイントを画用紙の余白に、イラストや文章で簡潔に表現してください。
3. 油土で制作したモデルと台紙を提出してください。

※ 問題用紙の空欄はメモに使用し、受験番号を記入し画用紙と一緒に提出してください。
(足りない場合は裏面を使用してください)

■注意

1. 試験問題に関する質問は受け付けません。
2. この用紙は試験会場からの持ち出しを禁止します。
3. 与えられたサンプル(油土、ねんどへら、ねんど板、糸、ビニール手袋、色鉛筆)は、試験終了後に全て回収します。
4. 油土をこねる際に大きな音を立てないようにしてください。
5. 油土は糸を使って切るとこねやすくなります。

平成 30 年度

金沢美術工芸大学 美術工芸学部デザイン科 環境デザイン専攻

入学試験 実技試験Ⅱ

【問題】

「日本らしさ」をテーマとして、8つの面を持つ閉じた立体を1個以上作り、立体構成しなさい。

また、作品のタイトルと制作意図を150字程度で右の欄に書きなさい。

【条件】

- ・ 立体の大きさは、スチレンボードの台紙からはみ出さず、高さ 40 cmからはみ出さないものとする。

【立体を作るための素材】

- ・ 色ケント紙 赤、青、黄、白
- ・ 両面テープ、ソフトテープ、接着剤

【注意】

- ・ 問題に関する質問には答えられない。
- ・ 素材の切断作業は、配られたゴールデンボードの上で行うこと。
- ・ 立体はスチレンボードの台紙に接着して固定しなさい。その際、受験番号を書く欄を裏面とし、表面に固定しなさい。
- ・ 作品の正面が分かるように、台紙に直径 5 mm 程度の丸印を付けなさい。
- ・ ソフトテープは仮止めに使用し、仕上がりの段階では取り外すこと。
- ・ A3 サイズのコピー用紙は、形を検討したり考えをまとめたりするために使うこと。
- ・ 制作により出たゴミは、所定の場所に捨てなさい。

平成 30 年度

金沢美術工芸大学 工芸科

実技試験 I 「鉛筆デッサン」

問題

「薪」「PP ひも」「ペットボトル」「紙ナプキン」

「ほうれん草」「オレンジ」「角型バット」

を下記の条件に従いデッサンしなさい。

条件

- ・画面の縦位置・横位置は自由とする。
- ・PP ひもは 60cm 以上引き出すこと。 *この問題用紙の長辺が約 30cm です。
- ・紙ナプキンはどちらか 1 枚を選び、モチーフとすること。
- ・モチーフは、平らな床を想定し自由に配置しなさい。

注意

- ・配布した草案用紙を使用し、持参した紙やスケッチブックは使わないこと。尚草案用紙は最後に回収する。
- ・この問題用紙は昼食時間前に回収する。
- ・この問題に対する質問には応じない。

配布物

- ・問題用紙 : 1 枚
- ・モチーフ : 「薪」一本、「PP ひも」一巻き、「ペットボトル」一本、「紙ナプキン」2 枚、「ほうれん草」一把、「オレンジ」1 個、「角型バット」1 個
- ・草案用紙 : 3 枚

平成 30 年度

金沢美術工芸大学

工芸科

実技試験Ⅱ「色彩表現」

問題

「孔雀の羽根」と「ミラーボード」をモチーフとし、「実像と虚像」をテーマに自由な画面構成で色彩表現をなさい。

条件

- ・ 画面は縦位置・横位置自由とする。
- ・ 画面用紙の表側上部真ん中に天地を表す○印を鉛筆で記入すること。
- ・ 孔雀の羽根の入っている透明な袋はモチーフとして扱わない。
- ・ ミラーボードは表面のシートを剥がして用いること、剥がしたシートはモチーフとして扱わない。
- ・ 孔雀の羽根、ミラーボードの使用する回数、扱いは自由とする。

注意

- ・ 草案用紙を配布するので、持参した紙やスケッチブック等は使わない事。
なお、草案用紙は最後に回収する。
- ・ この問題用紙は昼食時間前に回収する。
- ・ モチーフは試験後に回収する。
- ・ この問題に対する質問には応じない。

配布物

- ・ 問題用紙：1枚
- ・ モチーフ：「孔雀の羽根」1枚
「ミラーボード」1枚
- ・ 草案用紙：5枚